

InterFM897

The 221st Programming Deliberation Committee

第 221 回番組審議会 議事録

開催日 2018 年 6 月 15 日（火）

出席者：湯川れい子 委員長、亀渕昭信 委員、佐藤信夫 委員、山田吉彦 委員、
吉成伸幸 委員

1、

議題：「WONK RADIO」

毎週水曜日 23:00 – 23:30

DJ : WONK

会社からの説明

WONK は「Sphere」をリリースした 2016 年 12 月に同局の番組「Tokyo Scene」のマンスリーアーティストとして、マンスリーコーナー「WONK RADIO」を展開した経験があり、同局でレギュラーがスタートすることから続編として同じタイトルが付けられた。

そんな彼らの初のレギュラー番組となる「WONK RADIO」は毎回メンバー全員で進行していく。彼らのアカデミックな視点で選曲される楽曲とその解説も注目だ。

委員からの意見・感想

審議委員 A

全体的に聴きやすい番組であった。番組主旨等の説明をいれてから番組を開始しているのは良く、より本編をききやすくなる。音楽をよく知っているように思うので、もっと OA する楽曲の話や音楽の話をメンバー同士でしてみるとより中身の濃い番組になるのではないか。

審議委員 B

夜 23 時に聞くのに良い、まったり感のある番組。裏を返せば、引っ掛かりがない。
選曲が心地よいので、トークよりも音楽を多めにする方がよいように思われる。

審議委員 C

まとまりがある良い番組。セレクトする音楽が新ジャンルで興味深い。
若干、自己完結感があり、またバンドを知る人しかわからない内容も一部あったので、
ファン以外のリスナーをもう少し意識した番組にすることでファン層もひろがるよう思う。

審議委員 D

あつという間の 30 分と感じた、面白い番組。セレクトした楽曲もバラエティがあり、アーティストらしい感性で音楽を紹介していたところが印象に残っている。ただ、メンバー4 人が同時に話しているところがあり、そこは改善してほしい。

審議委員 E

全体的にはバランスが良い番組。1回の放送につき 1 つのテーマを定める構成で、30 分聞いてみると、必ず 1 つ、記憶に残るコンテンツがあった。音楽のうんちくが多かったが、それほど必要ではなく、ミュージシャンとして、もう少し感覚的なトークでもよいように思う。

—会社側の回答

番組に対する評価、改善・要望などの意見を真摯に受け止め、より質の高い音楽番組の制作に向け改善を図る。

以上